

**生成AIサービス導入支援業務  
評価基準**

評価項目			採点※ (a)					倍率 (b)	配点 (a×b)
<b>1 全般的事項</b>									<b>20</b>
(1)	業務理解・実施方針	・本業務の目的(生成AIの安全な実証、本格導入に向けた整理)を的確に理解しているか。 ・行政組織における生成AI活用の特性・制約を踏まえた方針となっているか。	1	2	3	4	5	2	10
(2)	業務実施体制・管理能力	・本業務を確実に遂行できる体制(責任者、担当者、専門性)が構築されているか。 ・運用・保守・伴走支援を継続的にできる体制となっているか。 ・類似業務(生成AI、RAG、行政・公共分野等)の実績があり、信頼性があるか。	1	2	3	4	5	2	10
<b>2 提案内容に関する評価</b>									<b>70</b>
(1)	生成AIサービスの機能・性能	・仕様書に示す生成AIサービスの機能要件を満たしているか。 ・行政文書作成、要約、企画立案等において実務利用に耐える性能であるか。 ・モデルの選定理由やバージョン管理方針が合理的に説明されているか。 ・情報漏洩防止、ログ管理、権限管理、監査対応等のセキュリティが行政利用として十分か。	1	2	3	4	5	4	20
(2)	RAG(検索拡張生成)機能の妥当性	・庁内文書を用いたRAGの設計方針・構成が適切か。 ・根拠提示、アクセス制御、文書更新への対応が現実的か。	1	2	3	4	5	2	10
(3)	研修・活用促進策の実施方、内容の妥当性	・生成AIの基礎、利用上の留意点、業務での活用方法等について理解を深めるための、研修や取り組みが提案されているか。 ・実証期間中の利用定着や、誤用・リスク低減につながる効果的な研修・施策となっているか。	1	2	3	4	5	4	20
(4)	実証の進め方・伴走支援の考え方	・本業務が「実証」であることを踏まえ、段階的かつ現実的な進め方が提案されているか。 ・利用状況や課題に応じて、助言・改善提案を行う伴走支援の考え方が示されているか。	1	2	3	4	5	2	10
(5)	自由提案	・本事業の効果を更に高めるような自由提案がなされているか。	1	2	3	4	5	2	10
<b>2 費用に関する評価</b>									<b>10</b>
(1)	費用の妥当性・コストパフォーマンス	・提案内容に対して見積額が妥当であるか。 ・実証規模・支援内容に照らし、費用対効果が高いか。 ・将来の本格導入を見据えた費用感が把握できるか。	1	2	3	4	5	2	10
<b>計</b>									<b>100</b>

## ※ 採点の考え方

採点	評価
5	非常に高く評価できる
4	高く評価できる
3	概ね評価できる ※ 仕様を満たしているなど、適格水準にある。
2	あまり評価できない
1	全く評価できない